

保全方針	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31/R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	達成目標・期間
(1) 照葉樹林の良好な状態の維持 (植生保護網の設置)		○5箇所の植生保護網を設置 (合計約0.26 ha)	○7箇所の植生保護網を設置 (合計約0.68 ha)	○20箇所の植生保護網を設置 (合計約1.60 ha)	○4箇所に植生保護網を設置 (合計約0.24 ha)		○設置より5年が経過	○設置より5年が経過	○設置より5年が経過	○設置より5年が経過	○設置より5年が経過	○設置より5年が経過	●春日山原始林保全計画 (H27年度策定) 「植生保護網の設置による保全面積の拡充」計画策定から15年 (～令和13年) ●年間0.25 haの植生保護網の設置 (令和13年時点 合計約6.0 ha) ※積極的に保全を実施する区域…春日山原始林約222.4 haの内、約23 ha (全体の約10.2%、面積はメッシュ分析に準拠した値) ※令和3年度時点の植生保護網設置面積…合計約3.1 ha
(2) 照葉樹林の多様性の維持 (植生保護網による後継樹、下層植生等の保全)	○後継樹、下層植生等の生育環境調査の実施						○モニタリング調査結果の検証 (H25設置)	○モニタリング調査結果の検証 (H26設置)	○モニタリング調査結果の検証 (H27設置)	○モニタリング調査結果の検証 (H28設置) ○モニタリング調査項目・スケジュールの再検討	○新規・継続モニタリング調査の実施	○モニタリング調査の実施	●春日山原始林保全計画 「多様な植生の保全と種多様性の維持」計画策定から15年 (～令和13年) ・平成25年～28年度設置植生保護網モニタリング調査 (5年間)の完了、効果検証 (令和3年)
(3) 後継樹の育成による文化財としての価値の修復				○後継樹種子の試験的な種子採取、播種、苗木の育成	○後継樹種子の試験的な種子採取、播種、苗木の育成	○後継樹種子の試験的な種子採取、播種、苗木の育成	○実施計画に基づく後継樹種子採取、播種、苗木の育成	○実施計画に基づく後継樹種子採取、播種、苗木の育成	○実施計画に基づく後継樹種子採取、播種 (800個)、苗木の育成	○実施計画に基づく後継樹種子採取、播種 (1,457個)、苗木の育成	○実施計画に基づく後継樹種子採取、播種、苗木の育成	○実施計画に基づく後継樹種子採取、播種、苗木の育成	●春日山原始林保全計画 「育種方法の確立、修復植栽方法の検証と後継樹育苗の本格展開」平成30年から30年間 (～令和30年) ・後継樹育成実施計画 (平成29年度策定)における5ヶ年の修復植栽実施の実施スケジュールの完了…令和4年
(4) 外来種ナンキンハゼの侵入の抑制			○外来種侵入状況調査の実施	○ナンキンハゼ駆除マニュアルの作成					○ナンキンハゼ生育状況調査 (12.5 ha)	○ナンキンハゼ生育状況調査 (15.0 ha)・成木駆除の実証実験 (11本)	○ナンキンハゼ成木駆除の実証実験の終了 (24本・予定)	○ナンキンハゼ成木駆除の実証実験の終了 (24本・予定)	●春日山原始林保全計画 「ナンキンハゼの駆除と駆除方法の確立」着手から5年 (令和2年～令和7年) ・令和3年度現在把握されている林内のナンキンハゼ成木の伐採とモニタリング調査の完了…令和5年 (予定)
(5) 常緑針葉樹ナギの拡大の抑制			○ナギ数量調整の試行実験	○ナギ拡大状況把握調査						○学識者へのヒアリングの実施 ○数量調整実施方針の決定、実施範囲の現況把握	○ナギ数量調整の実証実験の実施	○ナギ数量調整の実証実験の実施	●春日山原始林保全計画 「ナギ数量調整に係る実証実験の実施」着手から5年 (令和4年～令和9年) ・ナギの密生区域 (9 ha)で年間1 haの数量調整…令和12年度数量調整を完了
(6) ナラ枯れの拡大の抑制	○緊急を要する保全事業の実施 (ピニールによる被覆等)		○緊急を要する保全事業の実施 (ピニールによる被覆等)								○ナラ枯れ被害調査の継続	○ナラ枯れ被害調査の継続	●春日山原始林保全計画 「ナラ枯れ対策の検証とナラ枯れ後の森林更新・遷移に係る保全方針の検討」着手から10年 (平成30年～令和9年) ・薬剤樹幹注入2回目の終了 Bゾーン…令和6年 Cゾーン…令和7年
(7) 花山・芳山地区人工林の保全・活用	○人工林に関する基礎調査の実施										○保全活用計画の検討・実施	○保全活用計画の検討・実施	●春日山原始林保全計画 「森林資源の活用と方法の検討」計画策定から15年 (～令和13年) ・花山・芳山地区人工林における黒皮採取の終了…令和5年 (予定) ・各エリアにおける黒皮の採取、県下の文化財への活用
(8) 保全事業を円滑に実施し得る仕組みづくり			○春日山原始林を未来へつなぐ会設立										●春日山原始林保全計画 「関係機関・人材の連携・協働による人やシカとの共生を可能とする森林保全の実施」
(9) 多様な主体の参画													「保全事業の担い手の育成、保全事業の充実と継続」
(10) 春日山原始林に関する基礎情報のマネジメント													「調査結果など保全に係る基礎情報の一元化、データベースの作成、情報の発信」
委員会・部会等の開催	○第1回委員会 ○第1回花山・芳山部会	○第2、3回委員会 ○第2回花山・芳山部会	○第4、5回委員会	○第6～9回委員会 ○第3回花山・芳山部会	○第10回委員会 ○ナラ枯れWG準備会	○第11回委員会 ○第1回ナラ枯れWG ○第11回委員会	○第12回委員会 ○第2回ナラ枯れWG ○第12回委員会	○第13回委員会 ○第3回後継樹WG ○第2回ナラ枯れWG ○第12回委員会 ○第4回花山・芳山部会	○第14回委員会 ○第4、5回後継樹WG ○第13回委員会	○第15回委員会 ○第6回後継樹WG ○第14回委員会	○第16回委員会 ○第7回後継樹WG (R3/10/26) ○第15回委員会 (R4/2/18)	○第17回委員会 ○第3回 3委員会合同意見交換会 (R4/1/24)	委員会・部会等の継続